

I 第4期山形県ニホンザル管理計画目標に対する結果

(計画の期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで)

1 加害する群れの管理

(1) 目標 (年度は分析時)

令和3年度 (基準)	→	令和8年度
96群		96群以下

(2) 実績

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
群れ数 (基準比)	106群 (110%)	106群 (110%)	106群 (110%)	103群 (107%)		

山形市で従来の加害群2群の個体数がゼロとなった。

置賜地域では米沢市で加害レベルがゼロとなった群れが7群あった一方、米沢市と川西町で新たな加害群が6群確認された。

2 農業被害額の軽減等

2-1 農業被害額の軽減

(1) 目標

地域	H29～R2の平均 (基準)	→	R7 (基準比75%)
村山地域	33,527千円		25,100千円
最上地域	66千円		50千円
置賜地域	16,777千円		12,600千円
庄内地域	10,815千円		8,100千円
合計	61,184千円		45,850千円

(2) 実績 (※R6は速報値)

	R4	R5	R6	R7	R8
村山地域 (基準比)	27,333千円 (82%)	25,570千円 (76%)	25,537千円 (76%)		
最上地域 (基準比)	0千円 (0%)	5千円 (8%)	0千円 (0%)		
置賜地域 (基準比)	10,660千円 (64%)	13,711千円 (82%)	8,145千円 (49%)		
庄内地域 (基準比)	5,923千円 (55%)	5,549千円 (51%)	7,474千円 (69%)		
合計	43,916千円	44,834千円	41,156千円		

2-2 人身被害の防止等（加害レベル5相当の加害群れ数）

（1）目標（年度は分析時）

地域	R3（参考）		R8（R3比50%）
村山地域	13群	→	7群
最上地域	0群		0群
置賜地域	0群		0群
庄内地域	0群		0群

（2）実績

地域	R3	R4	R5	R6	R7	R8
村山地域	0群	0群	0群	0群		
最上地域	0群	0群	0群	0群		
置賜地域	0群	0群	2群	2群		
庄内地域	0群	0群	0群	0群		

※第3期の令和3年度までは、レベルとして「人馴れレベル」と「出没レベル」を使用していたが、特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン（ニホンザル編・平成27年度）に合わせて第4期の令和4年度からは「加害レベル」を使用している。「人慣れレベル4」は「加害レベル5」に相当するものとして扱う。

3 被害地区における対策の実施

令和2年度にニホンザルが被害を発生させている159地区に対する割合

（1）目標（年度は分析時）

	令和3年度		令和8年度
A 農作物被害対策 （電気柵等侵入防止柵の設置・管理）	105地区 （66%）	→	127地区 （80%）
B 生息環境管理 （刈払い・緩衝林帯整備、伐採の実施）	47地区 （29%）		80地区 （50%）
C 追払い等 （追払い、テレメトリー調査、その他）	139地区 （87%）		151地区 （95%）

（2）実績

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
A	108地区 【68%】	180地区 【70%】	200地区 【74%】	176地区 【68%】		
B	37地区 【23%】	64地区 【25%】	60地区 【22%】	72地区 【28%】		
C	144地区 【90%】	242地区 【94%】	253地区 【94%】	225地区 【87%】		
参考	被害地区 160地区	被害地区 258地区	被害地区 270地区	被害地区 260地区		

【】内は、当該年度の被害地区数に対する割合

対策実施地区数自体は令和6年度調査時点で概ね目標の地区数を達成しているものの、被害地区数の増加により、対策を実施する地区数が増えても当該年度の被害地区数に対する対策実施地区数の割合が増加しない状況にある。

対策として大型捕獲わなを設置する地区もみられるが、他の対策ほどの効果は出ていないため、追払いや電気柵といった他の対策とのバランスが重要であり、捕獲のみに依存することのないよう適切な対策の普及啓発が必要。

一方で、対策が進みつつある一例として、米沢市では加害群による被害が農山村部から市街地付近にも拡大し、農作物被害のみならず家屋侵入といった生活被害も大きい中、追払いや電気柵を複合的に実施した地区が増えている。また、市としてもGPSを使った群れの頭数調査など対策を強化しているところ。

Ⅱ 第4期山形県ニホンザル管理計画モニタリング結果

1 生息状況（生息動向）

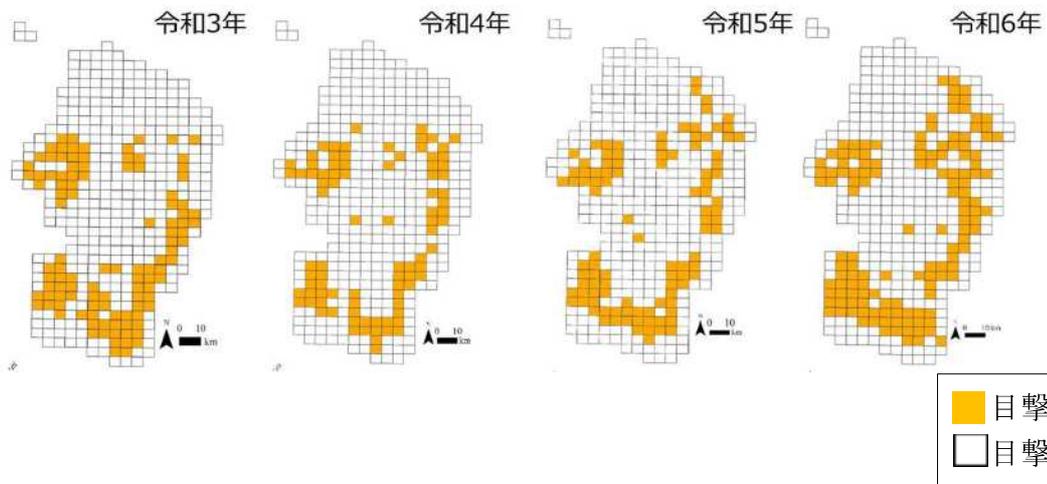
内容：自動撮影カメラを用いて、里山林（鶴岡市7カ所）における生息動向と行動の変化を調査



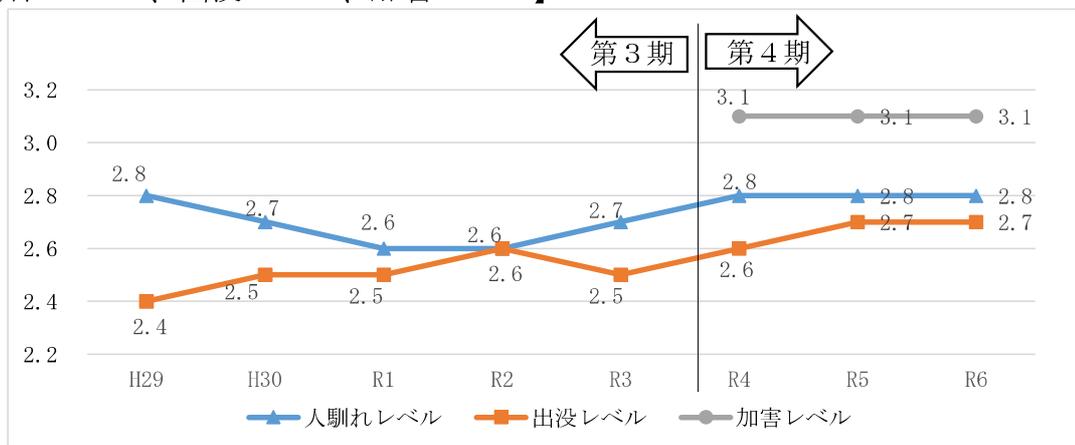
2 生息状況（状況変化）

内容：市町村アンケートにより目撃や被害の発生等変化把握

【目撃】

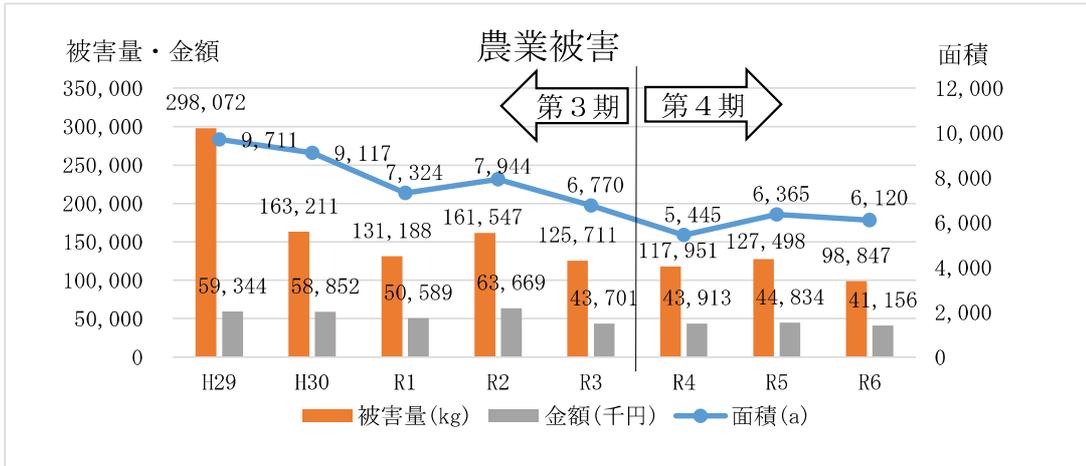


【人馴れレベル、出没レベル、加害レベル】



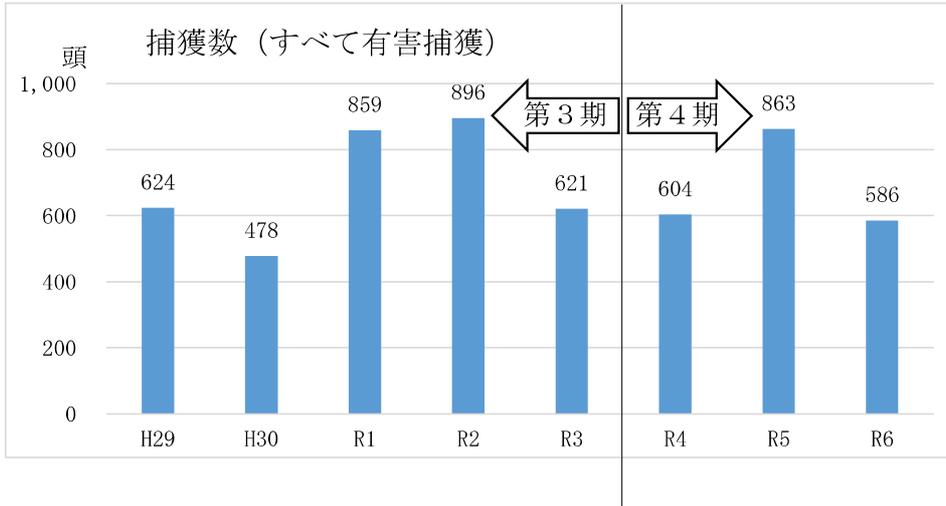
3 被害状況（農林業被害）

内容：被害の品目・樹種、面積、被害量、金額、その他（※R6は速報値）



4 捕獲情報（捕獲数）

内容：個体数調整、有害鳥獣捕獲許可による捕獲数（※R6は速報値）



5 被害対策の状況

内容：市町村アンケートにより各種対策の実施状況とその効果の有無を調査

